

## 福井ふるさと学びの森「竹林管理と利用の講習会」

里山保全活動の推進のため、放置された竹林を有効に利用する方法を紹介する講習会を開催しました。

- 1 日 時：令和元年11月10日（日）9：30～11：30
- 2 場 所：小浜市飯盛 145-1 飯盛寺境内
- 3 参加者：地元加斗地区の方、県内外の方（竹林の利用に興味がある）約30名
- 4 講 師：竹竹クラブ 代表 永野千太郎 氏  
NPO法人森林楽校・森んこ 代表 萩原茂男 氏  
京都大学大学院地球環境学堂 教授 小林広英 氏

### 5 開催概要：

○竹チップの有効利用、ウッドチップperの実演

／講師：永野千太郎 氏

竹チップを施用することで品質の良いトマト、ウリ、メロン、ジャガイモができるを紹介。ただし、チップにした直後に土に混ぜてしまうと窒素飢餓になるため、始めは防草（3センチ～5センチ）として利用し、数か月後に土に混ぜ込むことか、もしくはチップを他の場所に置いておいて発酵後に土に混ぜ込んだ方が良いと説明した。

その後、参加者はウッドチップperで実際に竹をチップにしたり、粉碎後すぐの竹チップと発酵した竹チップの匂いの違いを体験した。参加者からは「ウッドチップperでどのくらいの太さと長さのものが碎けるのか」、「今度ぜひ使ってみたい」などの意見があった。



## ○竹ハウス紹介

／講師：萩原茂男 氏

竹ハウスに使用した竹の本数、作成までにかかった時間と人数、材料代、耐久性について紹介した。さらに、普通のパイプハウスに比べて大変安価に建てられ、撤去後の材料の処分も容易であると説明した。竹ハウスの考案者である京都大学の小林教授からは竹ハウスの強度、普及状況について説明があり、現地でもっと活用してほしいと要望があった。参加者の中には農業をやっている方も多く、安価できる竹ハウスに関心を持たれ、萩原さん、小林教授との活発な意見交換があった。



## ○竹の切り方、チェーンソーの目立て

／講師：永野千太郎 氏

Vベルトを使った竹の切り方・運び方や伐採する際は、切る竹の手前に1本しっかりとした竹を挟むといった安全に作業するための竹の扱い方法を指導した。

また、山の中でチェーンソーが切れなくなった場合、どの刃をどれくらいの角度で研ぐのかといった目立ての仕方を紹介した。普段からチェーンソーを使用する方も多く、興味深く耳を傾けていた。

